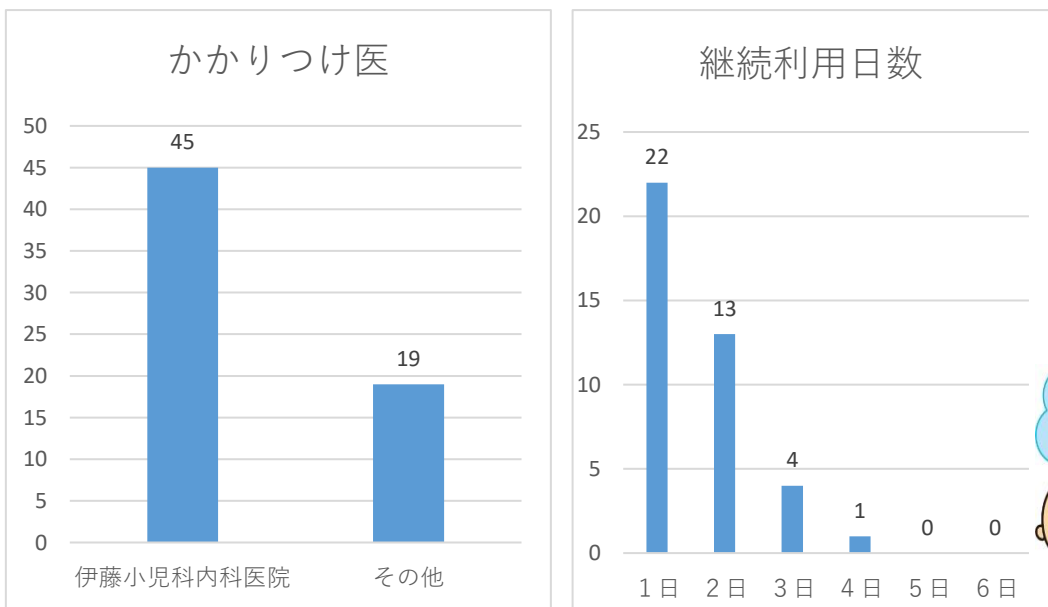
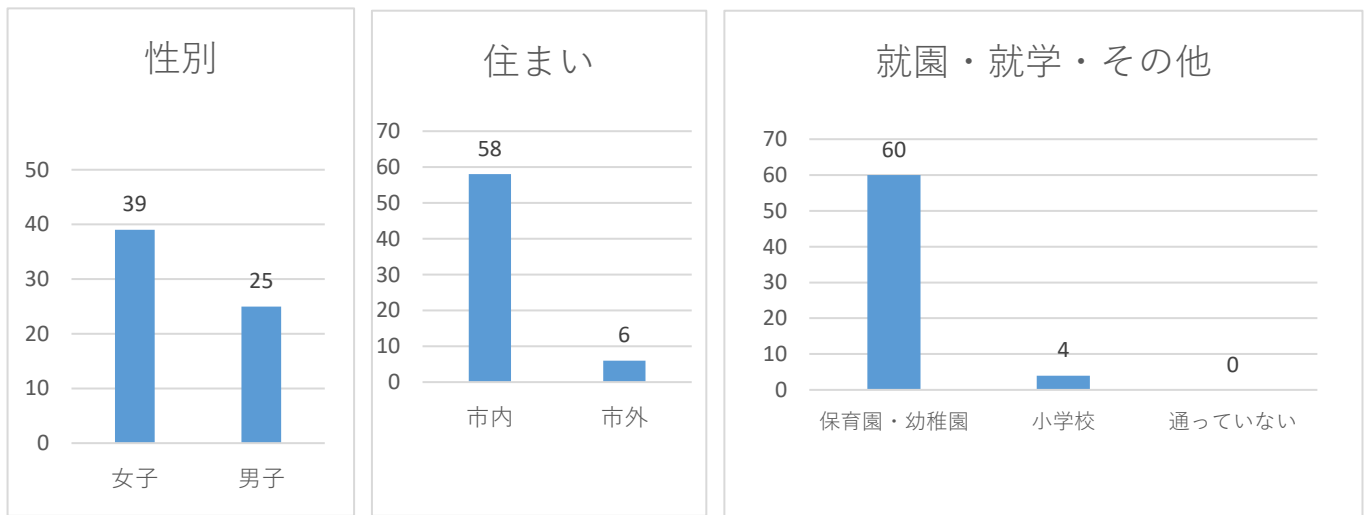




日中は夏と変わらないような暑い日もありますが、朝夕の心地よい風に秋の気配を感じる季節となりました。夏の疲れが出やすく、また、季節の変わり目でもあるので体調管理に十分留意し、元気な毎日を送っていきたいですね。

さて、先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況も合わせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

☆病児保育園おひさま 利用者状況 8月分 (31日締め) ☆



☆病児保育園 利用者情報 8月分 (31日締め) ☆

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
手足口病	6	4	1										11
風邪	12	1	3	3			1						20
便アデノウイルス	4												4
咽頭結膜熱	4	2	1		3	2							12
RSウイルス	11	4	2										17
ヘルパンギーナ			1										1
蕁麻疹											1		1
胃腸炎								2					2
突発性発疹	1	2											3
合計	37	11	8	3	3	2	1	0	0	0	1	0	71

※併発している疾患もすべて含む。

☆伊藤小児科・内科医院 感染症情報 8月分 (31日締め) ☆

週	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	0	0	0	0	0	0
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	4	10	30	23	44	111
咽頭結膜熱	10	11	14	13	10	58
溶連菌感染症	5	4	1	5	1	16
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	1	0	1	0	3	5
ノロウイルス	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	8	9	4	0	1	22
合計	28	34	50	41	59	212

伊藤先生コラム

RSウイルスに注意しましょう！

8月に入り、旅行や行事で忙しく疲れがたまり点滴をするお子さんも増えています。まだまだ暑い日が続きますので、栄養と睡眠時間をたっぷりとって、暑さや感染症に負けない体力をつけましょう。

8月はアデノウイルス(フェール熱)とRSウイルスの検出が目立ちました。RSウイルスは本来、冬に流行しますが、地球環境の変化のためか近年は夏からの流行が見られます。横手市内では休園の保育園も出ています。特に、0歳児と1歳児がRSウイルスにかかるとう気管支炎や肺炎を合併し入院が必要になることがあります。発熱、咳、喘鳴(ヒューヒュー、ゼーゼー)の症状がある場合は早めに医療機関を受診しましょう。鼻の検査ですぐ結果が出ます。年長児は重症化することは少ないですが、小さい子供の感染源になってしまうので、うがい、手洗い、マスク着用で、特に下のきょうだいに感染しないように気を付けましょう。

